『理趣広経』「極喜金剛秘密の供養の広大儀軌」における灌頂

–和訳および校訂テクスト–

徳重　弘志

1 はじめに

灌頂とは、インド密教における灌水のプロセスを含む弟子の入門儀礼のことである。中期密教経典の『理趣広経』は、チベット語訳においては経典全体が「般若分（大楽金剛不空三昧耶）」、「真言分・大楽金剛秘密」（漢訳欠）、「真言分・吉祥最勝本初」という３編から構成されている。本稿で取り扱う「極喜金剛秘密の供養の広大儀軌」[1] は、このうちの「真言分・大楽金剛秘密」に属している。

「極喜金剛秘密の供養の広大儀軌」における灌頂は、「真言分・吉祥最勝本初」に属する「弟子引入広大儀軌のタントラ」[2] や「一切如来の吉祥大三昧耶の曼荼羅の甚秘密儀軌」[3] における灌頂よりも内容が簡潔であり、「三三昧耶授与」などについても言及しない。しかし、「般若分」や「真言分・吉祥最勝本初」における灌頂には存在しない「瓶準備儀軌」について説いている。

また、上述の３編における灌頂のうち、「極喜金剛秘密の供養の広大儀軌」でのみ、プダク写本の読みがツェルパ系統やテンパンマ系統とは大幅に異なっている。調査の結果、『吉祥最勝本初広釈』(*Ṭīkā*) における当該箇所に対する註釈では、『理趣広経』からの引用の相当数がプダク写本のみと語順や語句が一致することが判明した。このことから、「真言分・大楽金剛秘密」におけるプダク写本は、*Ṭīkā* が訳出される際に参照された『理趣広経』の写本か、あるいは *Ṭīkā* 自体を参照して編纂されたと推定することができる[4]。

このように『理趣広経』には、同一経典中に発展段階が異なる複数の灌頂が記されているが、「極喜金剛秘密の供養の広大儀軌」における灌頂は、同一経典中の他の灌頂には存在しない特徴を有しているので、灌頂儀礼の発展過程を知るための重要な資料といえよう。

筆者は、『理趣広経』の各章における灌頂次第について和訳と校訂テクストを提示することを目標としており、上述の「弟子引入広大儀軌のタントラ」については既に公表している[5]。本稿では、「極喜金剛秘密の供養の広大儀軌」から灌頂説示箇所を抜粋し、その和訳と校訂テクストを示すことにより、『理趣広経』における灌頂の理解、また灌頂儀礼の実際を知るための一助としたい。なお「大楽金剛なる阿闍梨が加持して入る広大儀軌のタントラ」[6] や「一切如来の吉祥大三昧耶の曼荼羅の甚秘密儀軌」における灌頂の和訳研究は別稿を期し、さらにその後、『理趣広経』における複数の灌頂を参照しながら、『理趣広経』における灌頂の内容や発展過程について考察することとしたい。

2 校訂および和訳に際して

本稿では、チョネ版、デルゲ版、ラサ版、ジャンサタム／リタン版、ロンドン／シェルカ

ル写本、ナルタン版、北京版、プダク写本、トクパレス写本、東京写本、ウルガ版、永楽版を校合した上で、ツェルパ系統 (C, D, J, P, U, Y) に基づく校訂テクストを作成し、それに基づいて和訳を行った[7]。校訂テクストは和訳の後に提示した。なお、プダク写本に関しては、語順や語句が他のチベット大蔵経諸版とは非常に多くの箇所で相違しているため、校訂テクストでは後註にプダク写本における読みを示さず、校訂テクストの後にプダク写本のテクストを単独で提示する。

また、チベット語訳テクストでは、異なる写本におけるシェー (shad) の用いられ方や、現在の正書法に従わないツェク (tsheg) の用いられ方については報告しない。略字 (bsdus yig) については、その原型を報告することなく、正規形で提示する。なお後註においては、左端に示す読みが本稿において採用した読みであり、「] 」という記号を挟んでその読みを支持するチベット大蔵経諸版の略号を示した。また、採用した読みと異読とはコロン (:) で分け、複数の異読同士はセミコロン (;) で分けた。

和訳においては、亀甲括弧〔　〕内には筆者が補った語句を示す。また角括弧 [　] は筆者が内容を鑑みて任意に設けた段落であり、適切と思われる小見出しを付した。さらに、チベット文字の音写で記される真言は、還梵したサンスクリットを丸括弧 (　) 内に入れた。また、チベット語訳テクストにおいては、角括弧 [　] 内に和訳と同様に小見出しを示した上で、丸括弧 (　) 内に各版本における位置を記した。

和訳

[1] 瓶準備儀軌

続いて、手に金剛杵を取り、
一切最勝の曼荼羅を描いてから、
満水瓶を、あるだけの
あらゆる花などで供養すべきである。[1]

鈴の付いた諸幡を、
〔曼荼羅の〕諸隅に立てるべきである。
枝を〔口に〕[8]伴った諸瓶を、
〔曼荼羅の〕諸門の外側に安置すべきである。[2]

〔瓶は〕金剛杵を伴い、脚台[9]を具えている。
枝をしっかり念誦してから、
香水を満たした瓶〔の準備を成し遂げて〕[10]、
金剛手の手前に安置すべきである。[3]

その場合、以下が、大楽の三昧耶の甘露水を加持する心呪である。「オーン。大楽金剛三昧耶よ、灌頂よ、ジャッハ、フーン、ヴァン、ホーッホ (oṃ mahāsukhavajrasamaya

abhiṣeka jaḥ hūṃ vaṃ hoḥ)」〔と〕21 回念誦すべきである。この水が灌がれるか、飲まれるならば、一切の苦が浄化されるので、一切の楽が増す。

[2]　曼荼羅諸尊の召請

続いて、自らの諸三昧耶によって、持金剛などを成就すべきである。「ジャッハ、フーン、ヴァン、ホーッホ (jaḥ hūṃ vaṃ hoḥ)」と唱えてから、召請し、摂入し、縛して、瞬時に自在となるであろう。

大印を安立して[11]、
その右手の人さし指を鉤とすべきである。
次の召請〔の心呪〕を 1 回〔唱えること〕によって[12]、
成就して、摂入すべきである。[4]

「オーン、大楽金剛薩埵よ、ア、大楽金剛秘密三昧耶を、非常に速やかに憶念せよ。汝は偉大なる三昧耶であり、心呪である。我にとって十分に満足される御方であれ。我によく富をもたらす御方であれ。我にとって愛された御方であれ。加持せよ、世尊よ、甚だ歓喜せしめる御方よ。我に諸々の真言句が成就しますように。ジャッハ、フーン、ヴァン、ホーッホ (oṃ mahāsukhavajrasatva / a atiśīghraṃ mahāsukhavajraguhyasamayam anusmara prabhūtasamayas tvaṃ hṛdayaṃ sutoṣyo me bhava / supoṣyo me bhava / anurakto me bhava / adhitiṣṭha bhagavann atinandana siddhyantu me mantrapadāḥ[13] jaḥ hūṃ vaṃ hoḥ)」。

それによって、常に世尊が、
曼荼羅に自ら来臨される。
召請し、摂入し、固定し、
自在となり、成就するのである。[5]

各種の稀有なる神変を見るか、あるいは世尊自身が見られるであろう。そして〔阿闍梨〕[14] 自身が、一切の持金剛〔の曼荼羅〕の阿闍梨[15]、一切の印を成就した者、一切の三昧耶を知る者、一切の事業を可能にする者、世尊によって加持された者となるのである。

[3]　阿闍梨入住

次の入住儀軌によって、金剛阿闍梨自身が、あるだけの塗香をつけることによる香りと、荘厳を具えた花鬘によって身体を飾り、〔上下〕[16] 二つの赤い衣服を着て、自ら世尊を称賛し、金剛杵を持っての金剛慢〔印〕[17] によって、〔金剛阿闍梨〕自身が〔曼荼羅に〕[18] 入るべきである。〔世尊に対する〕[19] 称賛は、ṣaḍja など[20] の〔音階の〕歌によって行うべきである。

貪欲など〔によって〕[21] 一切楽である心を、汝は
普く集めた御方である。我に楽をお与え下さい。
金剛薩埵よ、御心を速やかに我に教示して下さい。

我を歓喜させ給え。そうすれば、最勝楽を成就した御方を恭敬いたします。[6]

続いて、入住してから、〔世尊の〕御心に報いるべきである。

無始無終の薩埵である
金剛薩埵、大楽を有する御方、
汝は普賢であり、〔一切の自性にして、〕
金剛慢〔の仕種をした〕主宰者の長である。[7][22]

〔菩提〕心の薩埵の三摩地であり、
同様に金剛杵であり、持金剛であり、
一切最勝の三昧耶の悉地を有する御方である
金剛薩埵よ、我を今日、成就させ給え。[8]

続いて、世尊そのものが、金剛阿闍梨を加持するであろう。その〔加持によって〕[23]以前には存在しない正しい知識という楽が双方に生じるであろう。微細〔な楽〕[24]を降すことにもなるであろう。そして、「我に世尊が成就された」と知るべきである。そして同様に、〔結跏趺坐で〕[25]坐して、欲するだけの念誦を行うべきである。そして同様に、〔結跏趺坐で〕坐して、自らの福徳の加持によって、望みの悉地を得るであろう。そして、〔金剛薩埵から〕初めて〔金剛鈴菩薩までの〕[26]一切の大薩埵を成就し、〔それらの姿を〕見るであろう。それら〔の曼荼羅諸尊〕がまた、そこにおいて一切の悉地を与える。一切の〔部族の幟幟の〕[27]印をまた、私自身が結んだ後、一切の事業を成就するであろう。一切の三昧耶がまた、この〔一切の部族の曼荼羅〕[28]に示されるであろう。心の望む諸事業をまた行うのである。一切の楽と心楽を経験し、他者によって支配されることがなく、また殺生しないので、一年を経て仏そのもの（成仏）などの最勝の悉地が得られる。

[4] 弟子引入

続いて、一切衆生を引入する義のために〔曼荼羅を〕[29]熟考すべきである。金剛阿闍梨は自ら、先程のように身体を荘厳し、〔弟子を〕甚楽金剛三昧耶の印〔を結んだ後に〕[30]しっかりと引入して、同様に大真実を課すことで〔弟子を〕奮起させ、そして召して、次のように説くべきである。

有の楽は清浄であるから、
以前の有において汝は喜ぶ。
一切の欲の大悉地が、
一切衆生にも成就しますように。[9]

続いて、供養をなして、〔弟子〕自身の守護尊であるその〔尊格の〕三昧耶印に華鬘を伴って引入し、引入してから耳に次のように説くべきである。

離欲〔によって〕[31] 調伏する世間は、
離欲そのものによって調伏される。
大貪欲と大楽を、
金剛薩埵は隠し持っている。[10]

離欲の如きの
苦は、他に本質がない。
それ故に衆生は、離欲を
再度、心に〔生じては〕[32] ならない。[11]

[5] 投華

続いて、華鬘などを次の心呪によって投げさせるべきである。「オーン、大楽金剛薩埵よ、摂受せよ、汝は三昧耶である (oṃ mahāsukhavajrasatva pratigṛhṇa samayas tvaṃ)」。そして、落ちたところ〔の尊格〕が、その〔弟子の〕守護尊である。

[6] 狭義の灌頂次第

続いて、大真実を説くべきである。欲するだけの心呪を施して成就させ、〔弟子〕自身の守護尊の灌水によって灌頂し、その幟幟を両手に与えて、その部族の名前の灌頂を次の心呪によって〔与えて〕灌頂すべきである。「オーン、我は一切如来の性質を有する者である。持金剛よ、恐れを知らない顔を持つ御方よ[33]、灌頂よ、我は汝を灌頂する。汝の悉地の金剛杵を執持せよ。汝は不空成就である (oṃ sarvatathāgatātmako ’haṃ vajradhara samukhebha abhiṣeka tvām abhiṣiñcāmi gṛhṇa siddhivajraṃ te amoghasiddhis tvaṃ)」。続いて、印を結ぶことを教示すべきである。

[7] 後方便

続いて、〔阿闍梨が一切の曼荼羅に〕[34] 欲するだけの供養を行って、〔弟子にも供養を〕[35] 行わせてから、欲するだけの食べ物と飲み物で弟子達を満足させ、印と、印の返答と、舞と、笑い〔という供養〕[36] を〔弟子に〕行わせた後に、〔阿闍梨〕[37] 自身もまた〔印と、印の返答と、舞と、笑いという供養を〕行うべきである。続いて、一切〔の弟子〕[38] を帰してから、次のように説くべきである。

初め（金剛薩埵）〔から〕終わり（金剛鈴菩薩）〔まで〕[39] に入るこの衆生は、
最勝の喜びと結びつけられ、
大薩埵たる金剛となる。
再度、お帰りになって下さいませ。[12]

続いて、合掌の〔手に挟んだ〕花を投じてから、撥遣すべきである。曼荼羅〔を描いた色粉〕をまた自ら掃き寄せて、それらの色粉で球体を作り置くならば、一切の事業を成就するであろう。そして、大楽金剛三昧耶の甘露の理趣[40] をそこに入れた後、長寿などの一切の事業を観想する。まさにそ〔の甘露水〕で灌水するならばまた、曼荼羅において灌頂を得

た後に、最勝の悉地をまた得るであろう。もし、〔諸尊の〕御身体〔で曼荼羅〕を描ける絵師が得られないならば、それぞれの幟幟の諸印によって曼荼羅を描くべきである。もし、それもまたできないならば、幟幟を安置すべきである。〔以上が〕印の広大儀軌である。

チベット語訳テクスト１（ツェルパ系統に基づく校訂テクスト）

[1] 瓶準備儀軌 (C194a4; D176a3; H140b7; J184b3; L34b2; N331a7; P181b1; S39a7; T33b2; U176a3)

de nas[41] phyag na rdo rje ’dzin //
dkyil ’khor kun mchog bris[42] byas nas //
bum pa gang ba ci[43] snyed pa[44] //
me tog la sogs kun gyis mchod // 1

dril bu btags pa’i ba dan rnams //
mtshams[45] rnams su ni gzhag[46] par bya //
lcug ma dang bcas bum pa rnams //
sgo yi[47] phyi rol dag tu gzhag[48] / 2

rdo rje dang bcas gzhi[49] dang bcas[50] //
lcug[51] mo yongs su bzlas nas ni //
dri chus gang ba’i bum pa ste //
phyag na rdo rje’i mdun gzhag[52] bya // 3

de la ’di ltar bde ba chen po’i dam tshig[53] gi bdud rtsi’i chu byin gyis brlab pa’i snying po ni / oṃ ma hā[54] su kha badzra sa ma ya / a bhi[55] ṣe[56] ka dzaḥ hūṃ baṃ hoḥ[57] / lan nyi shu rtsa gcig bzla’o[58] // chu ’di gtor ba’am / ’thungs na sdug bsngal thams cad rab tu ’byang[59] ba dang / bde ba thams cad rab tu ’phel bar ’gyur ba yin no //

[2] 曼荼羅諸尊の召請 (C194a8; D176a6; H141a4; J184b6; L34b5; N331b4; P181b4; S39b3; T33b5; U176a6)

de nas rang gi dam tshig rnams kyis rdo rje ’chang la sogs pa bsgrub par bya’o // dzaḥ hūṃ baṃ hoḥ zhes brjod nas / dgug pa dang ni[60] gzhug pa dang // bcings nas skad cig gis[61] dbang du ’gyur[62] //

phyag rgya chen po mnyam gzhag[63] ste //
de bzhin g-yas[64] mdzub[65] lcags kyur bya[66] //
dgug pa ’di ni lan gcig[67] gis //
’grub ste[68] rab tu gzhug par bya // 4

oṃ ma hā[69] su kha badzra satwa[70] / a a ti[71] shī[72] ghraṃ[73] ma hā su kha[74] badzra gu hya[75] sa ma ya

ma[76] nu sma[77] ra[78] pra[79] bhū[80] ta sa ma ya[81] stwaṃ[82] hṛ da yaṃ[83] / su to ṣyo[84] me bha ba[85] / su[86] po ṣyo me bha ba[87] / a nu rakto[88] me bha[89] ba[90] / a dhi tiṣṭha[91] bha ga ban[92] na[93] ti naṃ[94] da na sid dhyaṃ[95] tu me mantra[96] pa dāḥ[97] dzaḥ hūṃ baṃ hoḥ /

de nas rtag tu bcom ldan ’das //
dkyil ’khor du ni rang nyid byon[98] //
dgug cing bcug nas[99] brtan pa dang //
dbang du ’gyur[100] zhing ’grub pa yin // 5

rmad du byung ba’i rdzu ’phrul[101] du ma rnams mthong ba’am / yang na bcom ldan ’das rang nyid kyis mthong bar ’gyur ro[102] // de nas rang nyid rdo rje ’dzin[103] kun gyi[104] slob dpon ni phyag rgya thams cad grub[105] pa / dam tshig thams cad shes pa / las thams cad nus pa / bcom ldan ’das kyis[106] byin gyis brlabs pa yin no //

[3] 阿闍梨入住 (C194b5; D176b3; H141b3; J185a3; L35a2; N332a2; P182a1; S40a2; T34a2; U176b3) ’jug pa’i cho ga ’di yis rdo rje slob dpon rang nyid ci[107] snyed pa’i dris byugs shing bsgos pa rgyan dang bcas pa’i me tog gi phreng[108] bas lus shin tu brgyan[109] pa / gos dmar po gnyis bgos pa[110] / rang nyid kyis[111] bcom ldan ’das la bstod[112] cing rdo rje dang bcas pa’i rdo rje bsnyems pas rang nyid ’jug par bya’o // bstod pa ni drug ldan la sogs pa glu[113] yis bya’o //

’dod chags la sogs bde kun yid khyod ni //
kun ’dus[114] bdag la bde ba[115] stsol mdzod[116] cig /
rdo rje sems dgongs myur du bdag bstan brjod[117] //
bdag dgyes mdzad dang bde mchog grub la ’dud // 6

de nas rab tu zhugs nas dgongs su gsol[118] bar bya ste[119] /

thog mtha’ med pa’i sems dpa’ ni //
rdo rje sems dpa’ bde ba che[120] //
kun tu bzang po khyod yin te //
rdo rje bsnyems[121] bdag khyab bdag yin // 7

sems kyi sems dpa’i[122] ting nge ’dzin //
de bzhin rdo rje[123] rdo rje ’dzin //
kun mchog dam tshig dngos grub can //
rdo rje sems bdag deng[124] grub mdzod // 8

de nas bcom ldan ’das[125] de nyid kyis // rdo rje slob dpon byin brlab ’gyur[126] // de sngar[127] ma byung ba’i so sor[128] rang rig pa’i bde ba gnyis ka[129] la skye bar ’gyur ro // phra mo dbab par yang[130] ’gyur ro // de nas bdag la[131] bcom ldan ’das grub par gyur[132] to zhes shes par bya’o // de nas de bzhin du

’dug la ci ’dod pa’i bzlas brjod bya’o // de nas de bzhin du ’dug[133] la rang gi bsod nams kyi byin gyis brlabs[134] kyis ’dod pa’i dngos grub thob par ’gyur ro // de nas brtsams te sems dpa’ chen po thams cad ’grub par ’gyur zhing mthong bar ’gyur ro // de rnams kyis kyang de la dngos grub thams cad stsol[135] bar mdzad do // phyag rgya thams cad kyang bdag rang nyid kyis bcings na[136] las thams cad ’grub par ’gyur ro // dam tshig thams cad kyang ’di la bstan par ’gyur ro // yid kyi ’dod pa’i las[137] rnams kyang byed pa yin no // bde ba dang yid bde ba thams cad nyams su myong zhing gzhan gyis mi thub pa dang mi sod pas lo gcig[138] ’das nas sangs rgyas nyid la sogs pa’i mchog gi dngos grub thob pa yin no //

[4] 弟子引入 (C195a6; D177a2; H142b1; J185b5; L35b3; N332b5; P182b2; S40b4; T34b4; U177a2)
de nas sems can thams cad[139] gzhug[140] pa’i don du brtag par bya ba yin no // rdo rje slob dpon rang nyid snga ma bzhin du lus la brgyan nas / rab tu bde ba’i rdo rje’i dam tshig[141] gi phyag rgya rab tu bcug ste[142] / de bzhin du de[143] kho na nyid chen po bskul bas yang dag par bskul la[144] dgug par[145] bya ste[146] / ’di skad ces brjod do //

srid pa’i bde ba rnam[147] dag phyir[148] //
sngar gyi srid pa la khyod dga’ //
’dod pa kun gyi dngos grub che //
’gro ba kun la’ang ’grub par gyis // 9

de nas mchod pa byas la rang gi lhag pa’i lha gang yin pa de’i[149] dam tshig phyag rgya me tog dang bcas pa gzhug[150] par bya ste / bcug nas rna bar ’di skad[151] ces brjod par bya’o //

chags bral ’dul ba’i ’jig rten ni //[152]
chags bral nyid kyis ’dul bar[153] ’gyur //
’dod chags chen po bde ba che //
rdo rje sems dpa’ sbas pa yin // 10

’dod chags bral ba lta[154] bu yi //
sdug bsngal gzhan ni rang bzhin med //
de bas sems can chags[155] bral la[156] //
slar[157] yang yid ni ma byed cig / 11

[5] 投華 (C195b3; D177a6; H142b6; J186a1; L35b7; N333a3; P182b6; S41a2; T34b8; U177a6)
de nas me tog la sogs pa snying po ’dis ’dor du gzhug[158] go / oṃ ma hā[159] su kha badzra satwa[160] pra ti[161] gṛ hṇa[162] sa ma ya stwaṃ / de nas gang du babs pa de ni de’i lha yin no //

[6] 狭義の灌頂次第 (C195b4; D177a6; H142b7; J186a2; L35b8; N333a4; P182b6; S41a3; T34b8; U177a6)
de nas de kho na nyid chen po[163] brjod par bya’o // gang ’dod pa’i snying po byin la sgrub[164] tu[165]

bcug la rang nyid lhag pa'i lha'i[166] dbang bskur bas dbang bskur nas / de'i mtshan ma lag pa gnyis su byin te / de'i rigs kyi ming gi dbang bskur la snying po 'dis dbang bskur[167] bar bya'o // oṃ sarba ta thā ga ta ātma ko 'haṃ[168] / badzra dha[169] ra sa mu[170] khe bha a bhi ṣe ka twāṃ[171] a bhi ṣinytsā mi gṛhṇa siddhi badzraṃ[172] te a mo gha siddhi[173] stwaṃ / de nas phyag rgya bcings pa[174] bslab[175] par bya'o //

[7] 後方便 (C195b5; D177b1; H143a3; J186a4; L36a2; N333a6; P182b8; S41a5; T35a3; U177b1)
de nas ci[176] 'dod pa'i mchod pa byas shing byed du bcug nas ci 'dod pa bza' ba dang btung bas slob ma rnams tshim par byas la phyag rgya dang / phyag rgya'i lan dang[177] gar dang dgod pa[178] byed du bcug cing rang nyid kyis kyang bya'o // de nas thams cad bskrad[179] nas 'di skad brjod par bya'o[180] //

thog mthar[181] rgyu ba'i[182] 'gro ba 'di //
dga' ba[183] mchog la rag lus te[184] //
sems dpa' chen po rdo rjer 'gyur //
slar yang gshegs par mdzad du gsol // 12

de nas snyim pa'i me tog dor[185] nas dbyung[186] bar bya'o // dkyil 'khor yang rang nyid kyis 'phyags[187] la rdul tshon[188] de dag gis ri lu[189] byas la bzhag na las thams cad 'grub par 'gyur ro // de nas bde ba chen po rdo rje dam tshig gi bdud rtsi'i tshul de yang[190] bcug na tshe[191] 'phel ba la sogs pa'i las thams cad dgongs pa yin[192] no // de nyid kyis dbang bskur[193] na yang[194] dkyil 'khor du dbang bskur ba thob pa dang / mchog[195] gi dngos grub kyang thob par 'gyur ro // gal te sku bri ba'i ri mo mkhan ma rnyed na rang[196] rang gi phyag mtshan gyi phyag rgya rnams kyis dkyil 'khor bri bar bya'o // gal te de yang[197] mi shes na phyag mtshan[198] gzhag[199] par bya'o // phyag rgya'i cho ga rgyas pa'o //

チベット語訳テクスト２（プダク写本の校訂テクスト）

[1] 瓶準備儀軌 (Ph133a6)
de nas dkyil 'khor ma lus pa //
bris nas phyag na rdo rje ni //
bum pa gang ba me tog sogs //
ji snyed rnams kyi mchod byas la // 1

mtshams rnams su ni bzhag par bya //
dril bu'i sgra dang rgyal mtshan bcas //
bum pa kha brgyan dang bcas pa //
phyi rol sgo na gnas pa ni // 2

phyag na rdo rje'i mdun du gzhag //
dri chus gang ba'i bum pa ni //
rdo rje dang bcas bsgrub bya ste //
'dab ma la ni bzlas pa bya // 3

de la 'di ni bde ba chen po'i dam tshig gi bdud rtsi'i chu byin gyis brlabs pa'i snying po ste // oṃ mahā su ka badzra sa ma ya a bhi ṣe ka dza hūṃ baṃ ho // oṃ ta ga ta / zhes nyi shu rtsa gcig bzlas te / chu[200] 'dis ni sdug bsngal thams cad 'khrud pa dang / bde ba thams bskyed pas / dbang bskur ba dang / gsang ba yang bya'o //

[2] 曼荼羅諸尊の召請 (Ph133b3)

de nas rang gi dam tshig gis rdo rje 'dzin pa bsgrubs la / dza hūṃ baṃ ho zhes brjod cing dgug pa dang / gzhug[201] pa dang / bcing ba dang / de nyid du dbang du bya'o //

phyag rgya chen por mnyam bzhag ste /
de bzhin g-yas 'dzub lcags kyur bya /
de snyed dgug pa'i dngos grub ni /
lhan cig mchog tu 'gugs par byed // 4

oṃ mahā su kha badzrar sād shri ghaṃ maha su khu badzra ghu hya sa ma ya u nu sma ra na pra su ta bya / su ra ta staṃ tre dga / u dho ṣo a nu rag to / su po sho me bha be / te sha bha ga bhan / an dhe ne sā ta su tya se dhye / mi ri mu tra dha ye / dza hūṃ baṃ ho //

de nas bcom ldan 'das rang nyid dkyil 'khor du byon pa la // dgug pa dang / bcug[202] pa dang / shin tu[203] mnan pa dang / dbang du bya gyur pa grub pa dang /

ngo mtshar che ba'i cho 'phrul du ma mthong bar 'gyur ro // bcom ldan 'das rang nyid gzigs par 'gyur ro // slob dpon rang nyid 'jug par 'dod na / yang rdo rje 'dzin pa thams cad kyi slob dpon gyis 'gyur te // bcom ldan 'das kyi phyag rgya rnams kyis 'grub po // dam tshig kun mkhyen pa / las thams cad nus pa byin gyis brlab par mdzad do //

[3] 阿闍梨入住 (Ph134a2)

'jug pa'i cho ga 'dis slob dpon rang nyid ji snyed dris byugs shing / bsgos pa brgyan dang bcas pa me tog gi phreng bas lus brgyan pa / gos dmar po gnyis bgos nas rang nyid rdo rje dang bcas pa'i rdo rje bsnyems pas rang nyid 'jug par bya'o // rdo rje gsang ba'i glu drug ldan la sogs pa dang / grā ma ra dang dza re bra dang / gi rba'i glu[204] 'di rnams kyis bcom ldan 'das la mngon par bstod cing 'dod chags la sogs pa yid bde ba thams cad khyed ni bsdus pa ste / khyed bdag la bde ba stsol[205] bar mdzod cig / rdo rje sems dpa' dgongs par mdzod cig / bdag la brtan par mdzod cig / myur du bdag la dgos par mdzod cig / bde ba'i mchog la phyag 'tshal lo //

de nas zhugs la dran byas la //

thog mtha' med pa'i sems dpa' ni //
rdo rje sems dpa' bde ba che //
khyed ni kun tu bzang po ste //
rdo rje bsnyems pa'i bdag po yin // 7

khyab bdag sems ni sems dpa' ste //
ting 'dzin de bzhin rdo rje 'dzin //
kun mchog dam tshig dngos grub ste //
rdo rje sems dpa' deng grub mdzod // 8

de nas bcom ldan 'das rdo rje 'dzin pas byin gyis brlabs par mdzad pas / sngon chad ma byung ba gnyis ka so sor bde bar nyams su myong zhing shes pa skye bar 'gyur ro // phra mo dbab par yang 'gyur ro // de nas bdag la bcom ldan 'das grub par 'gyur ro // zhes shes par bya'o // de nas de bzhin du 'dug la[206] ci 'dod pa'i bzlas pa brjod par bya'o // de nas de bzhin du 'dug pa la rang gi bsod nams kyi byin gyis brlabs kyis 'dod pa'i dngos grub rnams thob par 'gyur ro // de nas brtsams te sems dpa' chen po thams cad 'grub par 'gyur ro // dngos grub thams cad stsol[207] bar mdzad do // phyag rgya thams cad bdag nyid kyis bcings nas bsgrubs nas las rnams 'grub par 'gyur ro // dam tshig thams cad brtan par 'gyur ro // las thams cad bsam pa tsam gyis byed par 'gyur ro // bde ba dang yid bde ba thams cad la bar chad med pa dang / gnod pa med par 'gyur ro // lo gcig bsgrubs pas yid la 'dod pa'i mchog gi dngos grub sangs rgyas nyid la sogs pa thob par 'gyur ro //

[4]　弟子引入 (Ph134b7)

de nas sems can thams cad gzhug[208] pa'i don du de bzhin du rdo rje sems dpa' rgyan gyis brgyan nas rab tu bde ba'i rdo rje'i dam tshig gi phyag rgyas 'jug par bya'o // de nas de kho na nyid chen po bskul bar bya'o // dgug pa byas nas 'di skad brjod par bya'o //

srid pa'i bde ba rnam dag phyir //
sngon 'byung ba'i gnas kyis dga' //
'dod pa kun gyi dngos grub che //
sems can kun don grub phyir bgyid // 9

de nas mchod pa byas la / rang gi lha gang yin pa de'i dam tshig gi phyag rgya me tog dang bcas pa gzhug[209] par bya'o // zhugs nas rna bar 'di skad ces brjod par bya'o //

'dod chags bral 'dul 'jig rten ni //
'dod chags bral bas dag par bya //
rdo rje sems dpa' sbas pa yin //
chags pa chen po bde ba che // 10

’dod chags bral ’dra sdug bsngal ni //
dngos po gzhan la yod ma yin //
de phyir ’dod kun chags bral ba //
yid ’byung bar ni ma byed cig / 11

[5] 投華 (Ph135a5)

yang de nas sngags ’di dang me tog dor bar bya’o // hūṃ maha a ta badzra swad ti phra ti gri ha na sa ma ya staṃ / de nas dang po gang la lhung ba de’i dang po lha yin no //

[6] 狭義の灌頂次第 (Ph135a6)

de nas de kho na nyid chen po brjod par bya’o // snying po yang ci ’dod pa byin la bsgrub par bya’o // rang gi lhag pa’i lha’i dbang bskur bas dbang bskur te / mtshan ma de lag pa gnyis su byin la hūṃ zhes bya ba’i snying po ’dis rang gi ming gi dbang bskur bas dbang bskur bar bya’o // thams cad la a badzra dha ra su khi bha ba dha thā staṃ / a bhi ṣinytsa mi ghri hna sidhe badzra ho a chai mo a zhes bya’o // de nas phyag rgyas bcing ba bslab par bya’o //

[7] 後方便 (Ph135b1)

ji nas ltar mngon par ’dod pa’i mchod pa byas la byed du yang bcug nas / slob ma rnams ci ’dod pa’i bza’ ba dang btung[210] bas tshim par bya’o // rang nyid kyis phyag rgya dang / phyag rgya’i lan dang gar byed du bcug[211] go // de nas gshegs su gsol ba ’di skad brjod par bya ste /

rab dga’ rag las thog mtha’ med //
’gro ba thams cad ’di yi mthus //
sems dpa’ chen po rdo rjer ’gyur //
slar yang ’byon par mdzad du gsol // 12

de nas me tog gtor la dkyil ’khor rang nyid gshegs par bsam so // phye ma dang ri lu byas[212] la bzhag na las thams cad ’grub par ’gyur ro // de kho na nyid chen po bde ba’i rdo rje dam tshig gi bdud rtsi’i chu bzhag na / tshe ’phel ba la sogs pa’i las thams cad la dgos par ’gyur ro // dbang bskur ba thob pas dkyil ’khor thams cad kyi dbang bskur ba thob par ’gyur bas // mchog gi dngos grub thob par ’gyur ro // de nas ri mo sku gzugs byas te / phyag mtshan gyi phyag rgya dang / phyag rgya’i dkyil ’khor bri bar bya’o // de nas mkhas par ma gyur na / mtshan ma gzhag[213] par bya’o // de nas phyag rgya bcing bar bya ste / phyag rgya’i cho ga rgyas par bya’o //

参考文献

〈一次資料〉
GMV(CIHTS 2006)
Central Institute of Higher Tibetan Studies, "*Śrīguhyasamājamaṇḍalavidhi* of Ācārya Dīpaṅkarabhadra," *Dhīḥ* 42, 109-154.
MM(Śāstrī 1920)
T. Gaṇapati Śāstrī, *The Āryamañjuśrīmūlakalpa* (Trivandrum Sanskrit Series No. 70), part I, Trivandrum: Government Press.
SAV(桜井 1996)
Saṃkṣiptābhiṣekavidhi. 桜井 [1996: 407-442].
SPK(桜井 1996)
Sekaprakriyā. 桜井 [1996: 552-585].
VĀ(桜井 1996; Mori 2009)
桜井 [1996: 442-493].
Masahide Mori, *Vajrāvalī of Abhayākaragupta* (Buddhica Britannica 11), 2 Vols., Tring: The Institute of Buddhist Studies.

〈二次資料〉
桜井宗信
1996 『インド密教儀礼研究 - 後期インド密教の灌頂次第 -』, 法蔵館 .
佐藤直実
2008 『蔵漢訳『阿閦仏国経』研究』, 山喜房佛書林 .
栂尾祥雲
1982 『理趣経の研究』(栂尾祥雲全集 5), 臨川書店 .
徳重弘志
2013a 「『理趣広経』「弟子引入広大儀軌のタントラ」における潅頂 - 和訳および校訂テクスト -」,『高野山大学大学院紀要』13, 11-29.
2013b「『理趣広経』における灌頂について」,『印仏研』61-2, (95)-(99).
2013c「『理趣広経』の灌頂における阿闍梨の作法について」,『印仏研』62-1, (97)-(101).
福田亮成
1987 『理趣経の研究 - その成立と展開 -』, 国書刊行会 .
渡辺章悟
1995 『大般若と理趣分のすべて』, 北辰堂 .
『理趣広経』の翻訳研究会
2013 「Śrīparamādya 校訂テクスト 第 1 章」,『大正大学綜合佛教研究所年報』35, (134)-(166).

略号

『印仏研』	『印度学仏教学研究』
『甘珠尔』	『中華大蔵経・甘珠尔』
大正	『大正新脩大蔵経』
『丹珠尔』	『中華大蔵経・丹珠尔』
add.	added in
C	チョネ版チベット大蔵経
CIHTS	Central Institute of Higher Tibetan Studies
D	デルゲ版チベット大蔵経
em.	emended
GMV	*Guhyasamājamaṇḍalavidhi*(CIHTS 2006)
H	ラサ版チベット大蔵経
J	ジャンサタム／リタン版チベット大蔵経
L	ロンドン／シェルカル写本チベット大蔵経
MM	*Mañjuśrīmūlakalpa*(Śāstrī 1920)
N	ナルタン版チベット大蔵経
om.	omitted in
P	北京版チベット大蔵経
Ph	プダク写本チベット大蔵経
S	トクパレス写本チベット大蔵経
SAV	*Saṃkṣiptābhiṣekavidhi*(桜井 1996)
SPK	*Sekaprakriyā*(桜井 1996)
T	東京写本チベット大蔵経
Ṭīkā	*Śrīparamādya-ṭīkā,*『吉祥最勝本初広釈』(D no. 2512)
U	ウルガ版チベット大蔵経
VĀ	*Vajrāvalī*(桜井 1996; Mori 2009)
Y	永楽版チベット大蔵経

付記：本稿の作成に際し、人文情報学研究所の苫米地等流博士はジャンサタム／リタン版のマイクロフィルム複写を快く御貸与下さいました。また、京都大学大学院の岡田英作氏には、ロンドン／シェルカル写本とプダク写本の複写入手に多大な御尽力を賜りました。記して感謝申し上げます。

[1] D no. 488, ta 174a1-181a5. なお、本章における灌頂次第は、D176a3-177b5 に記されている。また本章に関しては、平成 24 年度の密教研究会学術大会において、川﨑一洋氏が「『理趣広経』に説かれる灌頂儀礼について」という題目で発表を行っており、配付資料として本章の灌頂説示箇所の和訳を提示している。

[2] D no. 488, ta 206b5-207b7; 大正 no. 244, 801a29-802a3.

[3] D no. 488, ta 228a3-234a2; 大正 no. 244, 814b9-817a20.

[4] これについては、拙稿 (徳重 [2013c: (98)-(99)]) を参照されたい。

[5] これについては、拙稿 (徳重 [2013a]) を参照されたい。

[6] D no. 488, ta 202a6-206b5; 大正 no. 244, 797c26-801a28.

[7] 各版本における「極喜金剛秘密の供養の広大儀軌」の灌頂説示箇所の位置は、以下の通りである。C no. 123, ta 194a4-196a3; D no. 488, ta 176a3-177b5; H no. 454, ja 140b7-143b3; J no. 460, ta 184b3-186b1; L no. 353, nya 34b2-36a7; N no. 461, nya 331a7-333b5; P no. 120, ta 181b1-183a5; Ph no. 477, tha 133a6-135b7; S no. 447, nya 39a7-41b3; T no. 441 (2), nya 33b2-35a8; U no. 487, ta 176a3-177b5. また、Y については版本を直接確認することができなかったので、中国蔵学研究中心編纂の『甘珠尔』第 85 巻所収の灌頂説示箇所 (pp. 521-525) に対する註記 (pp. 744-746) から Y の読みを引用した。なお、『甘珠尔』では、D とは異なる読みだけを註記するという編集方針が採られているため、本稿では『甘珠尔』に明示されている Y の読みだけを後註に付加している。また、D の刊本には数種あるが、本稿では *The Tibetan Tripitaka. Taipei Edition,* Taipei: SMC Publishing Inc., 1991 を用いた。なお、チベット大蔵経諸版の概要や年代に関しては、佐藤 [2008: 71-92] および渡辺 [1995: (1)-(12)] を参照。

[8] Ph における異読に従って語句を補った。なお、GMV や SPK における「瓶準備儀軌」にも同様の記述が見られる。これについては、桜井 [1996: 588-589] を参照。

[9] 桜井 [1996: 591-592, 註 (7)] によって指摘されているように、脚台がないことを瓶が満たすべき条件として挙げている文献も存在する。

[10] Ph では語順が異なるものの bsgrub bya ste という語句が用いられているので、それに従い語句を補った。

[11] *Ṭīkā*(D *hi* 18a3-4;『丹珠尔』, vol. 30: 693) では、「大印を安立して」とは「金剛薩埵の大印を結ぶこと」であると註釈されている。

[12] *Ṭīkā*(D *hi* 18a5;『丹珠尔』, vol. 30: 694) に従って語句を補った。

[13] MM には、sarvārthāś ca me siddhyantu mantrapadāḥ manorathaṃ ca me paripūraya svāhā //(Śāstrī[1920: 29]) という記述が存在する。この記述を根拠として、mantrapadaiḥ を mantrapadāḥ に訂正した。

[14] Ph における異読に従って語句を補った。

[15] *Ṭīkā*(D *hi* 18b2-3;『丹珠尔』, vol. 30: 694) に従って語句を補った。また *Ṭīkā* では、「一切の持金剛」とは「一切の部族の本質としての諸々の仏菩薩」であり、それらの曼荼羅の阿闍梨が「一切の持金剛〔の曼荼羅〕の阿闍梨」であると註釈されている。

[16] *Ṭīkā*(D *hi* 18b7;『丹珠尔』, vol. 30: 695) に従って語句を補った。

[17] *Ṭīkā*(D *hi* 19a1-4;『丹珠尔』, vol. 30: 695-696) を参照した上で語句を補った。また *Ṭīkā* では、「金剛慢」とは「金剛薩埵の大印」であると註釈されている。なお *Ṭīkā* では、金剛杵と金剛慢が、三三昧耶（金剛杵と鈴と大印）と関連付けられている。後述するように、この文章の直後に位置する第 7 偈が、「三三昧耶授与」の場面で用いられる偈頌であることからも、三三昧耶との関連が窺える。ただし、この箇所では鈴について言及されていないため、「真言分・大楽金剛秘密」の段階で三三昧耶という枠組みが成立していたと断定することは難しい。

[18] *Ṭīkā*(D *hi* 19a4;『丹珠尔』, vol. 30: 696) に従って語句を補った。

[19] Ph における異読を参考にして語句を補った。

[20] ṣaḍja とは、インドにおける音階の第一音を意味する語句である。なお、ここで想定されているのが七つの音階の場合、ṣaḍja, ṛṣabha, gāndhāra, madhyama, pañcama, dhaivata, niṣāda という順番で音階が構成されていることになる。

[21] *Ṭīkā*(D hi 19a6-7;『丹珠尔』, vol. 30: 696) に従って語句を補った。

[22] この偈頌（金剛薩埵偈）は、『理趣広経』「弟子引入広大儀軌のタントラ」における「三三昧耶授与」の場面でも用いられている。これについては、拙稿 (徳重 [2013a: 14, 19]) を参照されたい。なお、この偈頌は、桜井 [1996: 118, 126] や Mori[2009, vol. 2: 606] で指摘されているように、多くの論書に用例が存在する。また、GMV(CIHTS[2006: 144])、SAV(桜井 [1996: 414])、VĀ(桜井 [1996: 462]; Mori[2009, vol. 2: 431]) といった文献から梵文を回収できる。以下に、VĀ(Mori[2009]) における梵文を提示する。
anādinidhanaḥ sattvo vajrasattvo mahārataḥ /
samantabhadraḥ sarvātmā vajragarvāpatiḥ patiḥ //

[23] *Ṭīkā*(D *hi* 20b3;『丹珠尔』, vol. 30: 699) に従って語句を補った。

[24] *Ṭīkā*(D *hi* 20b4;『丹珠尔』, vol. 30: 699) に従って語句を補った。

[25] *Ṭīkā*(D *hi* 20b6;『丹珠尔』, vol. 30: 700) に従って語句を補った。

[26] *Ṭīkā*(D *hi* 20b7-21a1;『丹珠尔』, vol. 30: 700) を参照した上で語句を補った。なお、註釈における rdo rje ’bebs

pa(Vajrāveśa) とは、金剛鈴菩薩の金剛名である。

[27] *Ṭīkā*(D *hi* 21a1-2;『丹珠尓』, vol. 30: 700) に従って語句を補った。

[28] *Ṭīkā*(D *hi* 21a2;『丹珠尓』, vol. 30: 700) に従って語句を補った。

[29] *Ṭīkā*(D *hi* 21a4;『丹珠尓』, vol. 30: 700-701) に従って語句を補った。

[30] *Ṭīkā*(D *hi* 21a5;『丹珠尓』, vol. 30: 701) に従って語句を補った。

[31] *Ṭīkā*(D *hi* 21b5;『丹珠尓』, vol. 30: 702) に従って語句を補った。

[32] Ph における異読に従って語句を補った。

[33] 本稿では、samukhebha を「恐れを知らない顔を持つ御方よ」と訳したが、テクストを何らかの形で訂正する必要が存在するかもしれない。

[34] *Ṭīkā*(D *hi* 23b7-24a1;『丹珠尓』, vol. 30: 707) を参照した上で語句を補った。

[35] *Ṭīkā*(D *hi* 24a1;『丹珠尓』, vol. 30: 707) を参照した上で語句を補った。

[36] *Ṭīkā*(D *hi* 24a2;『丹珠尓』, vol. 30: 707) に従って語句を補った。

[37] *Ṭīkā*(D *hi* 24a2;『丹珠尓』, vol. 30: 707) に従って語句を補った。

[38] *Ṭīkā*(D *hi* 24a5;『丹珠尓』, vol. 30: 708) に従って語句を補った。

[39] *Ṭīkā*(D *hi* 24a6;『丹珠尓』, vol. 30: 708) を参照した上で語句を補った。

[40] Ph では bdud rtsi'i chu と表記されていることから、ここでの bdud rtsi'i tshul とは甘露水を意味していると判断できる。なお *Ṭīkā* では、この箇所に対する註釈が省略されている。

[41] nas] C D H J L N P T U : na S

[42] mchog bris] em. : mchog bri C D J P U ; tu bris H L N S ; du bris T

[43] ci] C D J P T U : ji H L N S

[44] pa] C J P Y : dang D H L N S T U

[45] mtshams] C D H J L N S T U : 'tshams P Y

[46] gzhag] D H L N S U : bzhag C J P T

[47] sgo yi] C D H J L N S T U : sgo'i P Y

[48] gzhag] D H S : bzhag C J L N P T U

[49] gzhi] H L N S T : bzhi C D J P U

[50] bcas] C D H J P S T U : om. L N

[51] lcug] C D H J P U : bcug L N S T

[52] gzhag] D H S U : bzhag C J L N P T

[53] tshig] C D H L N P S T U : chig J

[54] ma hā] C D H J P S U : mahā L N T

[55] bhi] C D H J L N P T U : bhe S

[56] ṣe] C D H J L N P T : khe S ; ṣi U ; ṣa Y

[57] hoḥ] C D H J P S T U : ho L N

[58] bzla'o] H L N S T : bzlas so C D J P U

[59] 'byang] C D J P U : byang H L N S T

[60] ni] C D J P U : om. H L N S T Y

[61] gis] H L N S T : om. C D J P U

[62] ro add. H L N S T

[63] gzhag] D H L N P T U : bzhag C J S

[64] su add. H L N S T

[65] mdzub] C D H J L N S T U : 'dzub P

[66] kyur bya] D J P U : kyu bya C ; kyus H L N S T

[67] gcig] J L N P T Y : cig C D H S U

[68] ste] C D J P U : ster H ; par L N S T

[69] ma hā] C D H J P S T U : mahā L N

[70] satwa] D L N P S T U : sa twa C H J

[71] ti] L N : hi C D H J P S T U

[72] shī] C D H J L N P T U : shri S

[73] ghraṃ] C D J P S T : ghaṃ H ; ghriṃ L N ; ghri U

[74] ma hā su kha] C D H J U : su kha L N S T ; kha su P ; ma hā kha su Y

[75] hya] C D H J P S T U : hye L N

[76] ma] C D J L N P S T U : om. H

77 sma] C D H J L N S T : smra P U Y
78 pra nu sna mar add. P Y ; prā nu sma ra add. L N S T
79 pra] C D J L N P S T U : phra H
80 bhū] D H J L N S T U : bhu C P Y
81 ya] C D J L N P S T U : om. H
82 stwaṃ] C H J L N P S T U : staṃ D
83 hṛ da yaṃ] C D H J T U : hri da ya L N P Y ; hri da yaṃ S
84 ṣyo] C D H L N P S T U : shyo J
85 ba] C D J P U : wa H L N S T
86 su] C D H J L N S T U : sug P Y
87 ba] C D J P U : wa H L N S T
88 rakto] D H J N S T U : ra kto C L ; rag to P
89 bha] C H J L N P S T U : bhe D
90 ba] C D H J L N S T U : wa P Y
91 tiṣṭha] C D H J P S U : ti ṣṭha L N ; taṣṭha T
92 ban] C J : bān D U ; bāṃ H L N S T ; bhan P Y
93 na] em. : a na C D H J L N P S T U
94 naṃ] D H U : na C J L N P S T Y
95 sid dhyaṃ] D H L N S U : si ddhya C ; sid dhya J P Y ; si d dhyaṃ T
96 mantra] C D H N S T U : man tra J P ; manta L
97 dāḥ] em. : daiḥ C D H J S T U ; dai L N ; teḥ P Y
98 byon] C D H J P U : byin L N S T
99 bcug nas] C D J P S U : bcug gnas H L N ; btsug nas T
100 ’gyur] C D H J L N S T U : gyur P Y
101 ’phrul] D H J L N P S T U : ’prul C
102 ’gyur ro] C D H J L P S T U : ’gyur re N
103 ’dzin] C D H J L N S T U : ’jig rten P
104 kun gyi] C D H J L N P U : kun gyis S ; gun gyis T
105 grub] C D H J P U : ’grub L N S T
106 kyis] C D H J P S T U : kyi L N
107 ci] C D H J L N P U : ji S T
108 phreng] C D H J L N P T U : ’phreng S
109 brgyan] C D H J P S T U : rgyan L N
110 bgos pa] C D J U : bsgos pa H P Y ; bsgos pas L N ; bgos pas S T
111 kyis] C D H J P S T U : kyi L N
112 bstod] C D H J L N P S T U : stod Y
113 glu] D H J L N P S T U : klu C
114 ’dus] C D H J U : tu sa L N ; nas P Y ; tu S ; tus T
115 la add. L N S T
116 mdzod] C D H J P : om. L N S T ; mdzad U
117 bstan brjod] C J P Y : ston mdzod D H U ; bstan mdzod L N S T
118 gsol] C D H J L P S T U : gsal N
119 bya ste] C D H J L N S T U : byas te P Y
120 che] C D H J P S U : chen L N T
121 bsnyems] C D H J L N S T U : snyems P Y
122 dpa’i] D H L N S T U : dpa’ C J P Y
123 rdo rje] C D H J L N P S U : om. T
124 deng] C D H J P U : de L N S T
125 ’das] C D J U : om. H L N P S T Y
126 brlab ’gyur] C D H J U : rlabs gyur L N ; rlab ’gyur P Y ; brlabs gyur S T
127 sngar] D H L N P S U : ltar C T ; lngar J
128 sor] C D H J L N P U : so S T
129 ka] D H L N P S T U : om. C J

130 yang] C D J P U : om. H L N S T
131 bdag la] C D H J P U : om. L N S T
132 gyur] C D H J L N P S T : ’gyur U
133 ’dug] C D H J N P S T U : ’dod L
134 gyis brlabs] C J L N P Y : gyi rlabs D H S T U
135 stsol] C D H J P S U : rtsol L N T
136 na] C D H J P S T U : nas L ; na sa N
137 las] C D H J L N P S T U : la Y
138 gcig] C D H J L N S U : cig P T Y
139 cad] C D H J L N P T U : can S
140 gzhug] C D H J P U : zhugs L N S T
141 tshig] C D H L N P S T U : chig J
142 ste] C D H J P S T U : te L N
143 de] D H J L N P S T U : om. C
144 la] D H L N S T U : ba C J P Y
145 par] C D H J L N P T U : pa’i S
146 bya ste] P Y : bya’o C D J U ; bya la H L N S ; bya ba la T
147 rnam] C D H J L P S T U : rnams N
148 phyir] C D H L N P S T U : pyir J
149 de’i] D H L N S T U : de C J P Y
150 pa gzhug] C D H J S T U : pa gzhugs L N ; pa bzhugs P ; bzhugs Y
151 skad] C D H L N P S T U : sad J
152 chags bral ’dul ba’i ’jig rten ni //] C D H J P U : om. L N S T
153 bar] C D H J L N P S T : ba U
154 lta] C D H J L N S T U : blta P Y
155 chags] D H J L N P S T U : chigs C
156 la] C D J P S T U : lo H L N
157 slar] D H L N S T U : sngar C J P Y
158 gzhug] C D H J L N S U : bzhug P T Y
159 ma hā] C D H J L N P S T : mahā U
160 satwa] D H L N P S U : sa twa C J ; satwā T
161 pra ti] C D H J L N P S T : prati U
162 gṛ hṇa] C H J U : grihṇa D ; gṛ hna L ; grhna N S T ; gri hna P ; grihna Y
163 po] C D H J P U : por L N S T
164 sgrub] C D H J L N S T U : bsgrub P Y
165 tu] D H L N P S T U : du C J
166 lha’i] C D H J P U : om. L N T ; lha S
167 bskur] C D H J L N S T U : skur P Y
168 ātma ko ’haṃ] D S T U : āt ma ko haṃ C J ; ātma ko’ haṃ H ; ātma ko haṃ L N ; ād ma ko haṃ P ; ā ma ko haṃ Y
169 dha] H L N S T : dhā C D J P U
170 mu] C D H J L N P S U : su T
171 ṣe ka twāṃ] C J U : ṣe ga twāṃ D ; ṣe twāṃ H ; ṣe twaṃ L N T ; ṣa ka twaṃ P ; khe twaṃ S ; ṣo twaṃ Y
172 ṣinytsā mi gṛhṇa siddhi badzraṃ] D J S : ṣinytsā mi gṛ hṇa siddhi badzraṃ C ; ṣinytsa mi gṛ hṇa siddhi badzraṃ H U ; ṣinytsā mi gṛ hṇa sidhi badzra L ; ṣinytsā mi gṛhna sidhi badzra N ; shi tsa mi grihna sidhi badzraṃ P ; ṣinytsā mi gṛhna sidhi badzraṃ T ; shi / tsa mi grihna sidhi badzraṃ Y
173 siddhi] C D H S U : sid ddhi J ; sidhi L N T ; sid dhaṃ P Y
174 pa] D H J L N P S T U : om. C
175 bslab] D H L N S T U : brlab C J P Y
176 ci] D H J L N P S T U : om. C
177 dang] C D H J L N P T U : om. S
178 dgod pa] C D H J U : rgod pa L N S T ; rgod par P Y
179 bskrad] C D H J S T U : bkrad L N Y ; bgrad P
180 bya’o] C D H J U : bya ste L N P S T Y

181 mthar] C D H J P U : mtha’ L N S T
182 ba’i] C D H J P U : yi L N S T
183 ba] C D H J P U : bas L N S T
184 rag lus te] C D H J L N S T U : reg lus ste P ; rag lus ste Y
185 dor] D H J L N P S T U : der C
186 dbyung] D H L N S T U : byung C J P Y
187 kyis ’phyags] em. : kyis phyag C S ; kyis phyags D H J T U ; kyi phyags L N ; kyis phyogs P
188 tshon] C D H L N P S T U : chon J
189 gis ri lu] C J P Y : gis ril bu D U ; gi ril bu H L N S T
190 de yang] C D H J L N P T U : de’ang S
191 tshe] C D H J L P S T U : che N
192 yin] D H J L N P S T U : yi C
193 bskur] C D H J L N S T U : skur P Y
194 na yang] C D H J L N P T U : na’ang S
195 mchog] C D H J L P S T U : mchag N
196 rang] C D H J N P S T U : om. L
197 de yang] C D H J L N P T U : de’ang S
198 mtshan] C D H J L P S T U : mchan N
199 gzhag] D H S U : bzhag C J L N P T
200 chu] C D H J L N P S T U : tshu Ph
201 gzhug] C D H J L N P S T U : bzhug Ph
202 bcug] C D H J L N P S U : bzhug Ph ; btsug T
203 tu] em. : du Ph
204 glu] em. : klu Ph
205 stsol] C D H J L N P S T U : rtsol Ph
206 ’dug la] C D H J L N P S T U : ’dul ba Ph
207 stsol] C D H J P S U : rtsol L N T ; brtsol Ph
208 gzhug] C D H J P U : zhugs L N S T ; bzhug Ph
209 pa gzhug] C D H J S T U : pa gzhugs L N ; pa bzhugs P ; bzhug Ph; bzhugs Y
210 btung] C D H J L N P S T U : bltung Ph
211 bcug] C D H J L N P S T U : bzhug Ph
212 byas] C D H J L N P S T U : bas Ph
213 gzhag] D H S U : bzhag C J L N P Ph T

＜キーワード＞『理趣広経』，灌頂，プダク写本